

田中恵子トークコンサート

11 / 15 (日) 15:00～

素敵なピアノ演奏の合間に楽しいトークを交えた、心とむコンサートです。お友達と一緒でも、お一人でも楽しんでいただけます。ぜひお越しください。



田中恵子 (ピアノ)

神戸市在住。神戸山手女子高校音楽科、同短期大学、専攻科ピアノ専攻卒。音楽工房GraceK&Kを主宰。神戸中央教会会員・同オルガニスト。関西聖書神学校器楽実習講師。更生就労支援講師。

トリビア ～宗教改革記念日～

10月31日は、宗教改革記念日です。1517年のこの日、マルティン・ルター(1483-1546)が、95ヶ条の論題(公開質問状)をヴィッテンベルク教会の扉に打ち付けたことを記念する日です。

当時、ヨーロッパ全域の教会では免罪符が販売されて、これを購入すると、天国へ入ることができると、教えられていました。

修道士だったルターは、自分の中にある悪い心を、どうすれば清くすることができるのかを真剣に悩んでいました。そして、免罪符を購入することで、本当に天国に入れるのかと疑問を抱きました。そこで、彼は、この疑問を95ヶ条の論題としてまとめ、おおよけに提示したのです。ルターは、聖書の中に、人の悪い心は善行によってではなく、信仰によって清くなると書かれていることを見出しました。

しかし、このことは、大きな波紋を起こしました。彼は、大司教たちや神聖ローマ皇帝から糾弾され、撤回するようにと求められましたが、それを断固拒否し続けます。その結果、破門され、あらゆる法的権利を剥奪されてしまいます。その後、彼はザクセン候フリードリヒの城内で

保護され、そこで新約聖書のドイツ語翻訳に力を注ぎました。当時起こったばかりの活版印刷術のおかげで、ルターのドイツ語訳聖書は急速に広まっていきました。こうして、聖書を誰でも読むことができる時代が始まっていきました。そして、ルターが命をかけて貫いた真理も伝えられていったのです。ルターが起こした運動は、彼の揺るぎない信念に由来し、プロテスタント(抗議する者)と呼ばれ、今日に至っています。

聖書に、「義人は信仰によって生きる」(ローマ1:17)という言葉があります。この聖書の言葉が、彼の信念のよりどころでした。善い行いを否定しているわけではありません。けれども、人はキリストを信じる信仰によって、悪い心を清くされ、正しく生きていくことができるのです。宗教改革記念日は、このメッセージを私たちに伝えています。

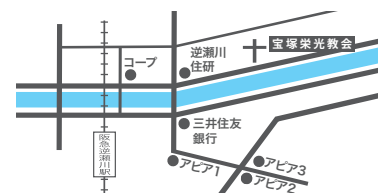


宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com



礼拝 毎週日曜日
10:30～11:45

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。



欠けていることが一つ

一人の裕福な若い役人が、イエス・キリストのもとに、永遠のいのちを求めて来ました。彼は真面目な求道者です。しかも、自分は神の律法を一つ残らず守ってきたという自負がありました。

そのような彼に、キリストはこう言われました。「あなたに欠けていることが一つあります。帰って、あなたが持っている物をすべて売り払い、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。」(マルコの福音書10章21節)

このキリストの言葉を聞いて、彼は顔を曇らせ、悲しみながら立ち去りました。彼はたくさんの財産を持っていたのです。

キリストは何をおっしゃりたかったのでしょうか。財産を売り払って清貧に甘んじることや、あるいは貧しい人々への慈善事業に励むことを勧められたのでしょうか。そうではありません。

「永遠のいのち」とは、私たちにとっては「幸福」と言い換えられます。私たちは、幸福

になるために様々なことをします。高い学歴、豊かな教養、益になる趣味を身につけようとします。しかし、本当の幸福は、外からべたべたとくっつけることによって得られるものではありません。むしろ、身につけていたもの、後生大事にあたためていたものを手放して、空っぽになることから始まるのです。

私たちが真っ先に手放さなければならぬものは、罪です。天地を創造されたまことの神様に背を向け、自分勝手な生き方をしてきた罪、また具体的に人を傷つけた、人のものをむさぼった、などの罪を悔い改め、キリストはこの自分のために身代わりに十字架についてくださったと信じるなら、どんな罪も赦され、喜びと平安が心を満たします。これが永遠のいのちです。

身につけるよりも手放すことが、ポイントです。そして、単純な心になって、神の言葉に従っていくのです。そういう者にならせていただくではありませんか。



カタバミ ― イモカタバミ ―

イモカタバミは カタバミ科の多年生植物で 南アメリカ原産である
山野 農地 道端 日本中のどこにでも 自生している
花は 直径1cmほどの5弁花で 春から秋に咲く 身近な野草である

カタバミの葉は 長さ1cm 幅0.5～2cmほどの
ハート型の葉が3枚集まった形である
夕方になると 3枚の葉が閉じて 眠る
眠った葉の様子を見ると 片っぽうが欠けたように見えるので
カタバミ (片喰み) という名になったという
また 根の上部に 直径1cm程度のイモ状の塊を 多数つけているので
イモカタバミと名づけられた

また カタバミは 「酢漿^{カタバミ}」と書くこともあり
「酸^{スイバ}葉」と呼ばれることもある
これは茎に シュウ酸を含んでいるため 酸っぱい味がするからだ

カタバミは 古くから家紋にも使われてきた
繁殖力が非常に強く 根絶が難しいことから
武家の家紋として好まれた

カタバミは 世界におよそ850種類があると言われている
日本では6種類が自生している

「ガリラヤの人たち なぜ天を見上げて立っているのか
あなたがたから離れて 天に上げられたイエスは
天に行かれるのを あなたがたが見たのと同じ有様で
またおいでになる」

使徒1章 (聖書)